



学生のための  
政策立案コンテスト  
2018 Tチーム政策案

こどもの健康状態改善と  
食育の浸透

GEIL

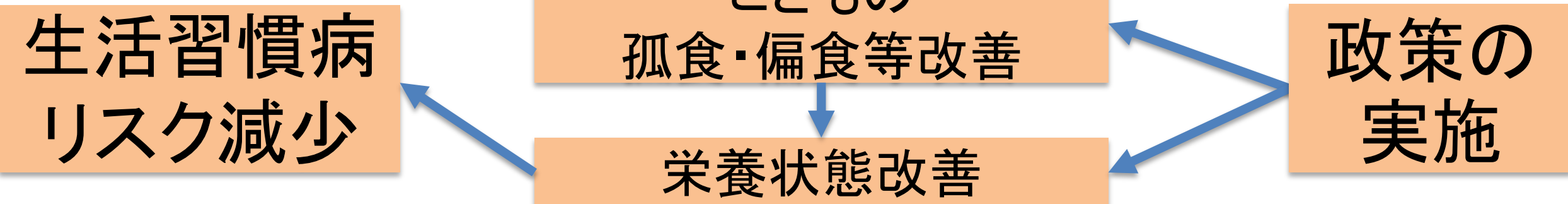
# 理想状態

こどもの健康状態の改善・生活習慣病リスク低下

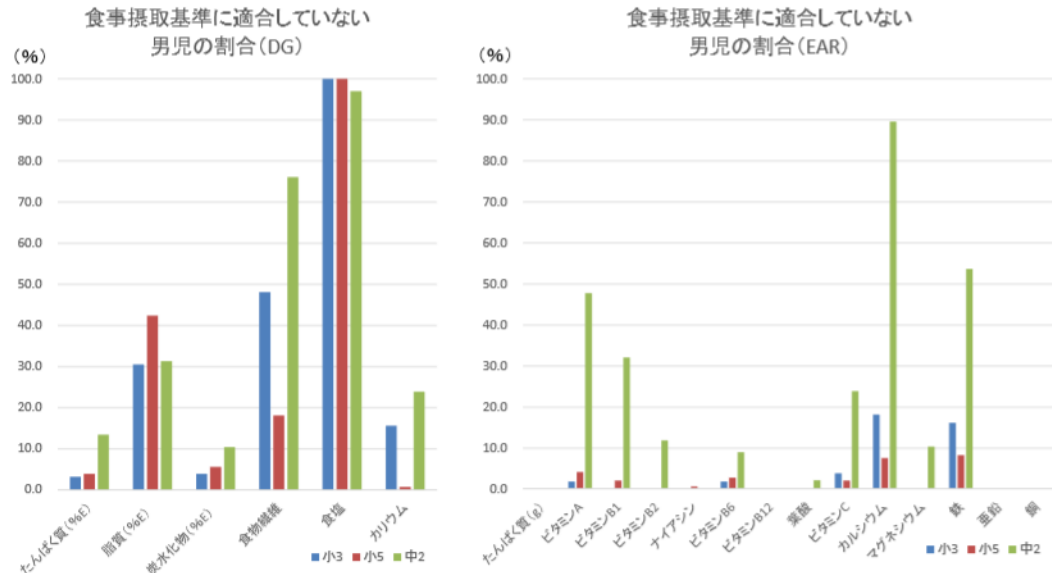
食育の浸透

こどもを取りまく地域コミュニティの形成と維持

# 現状分析

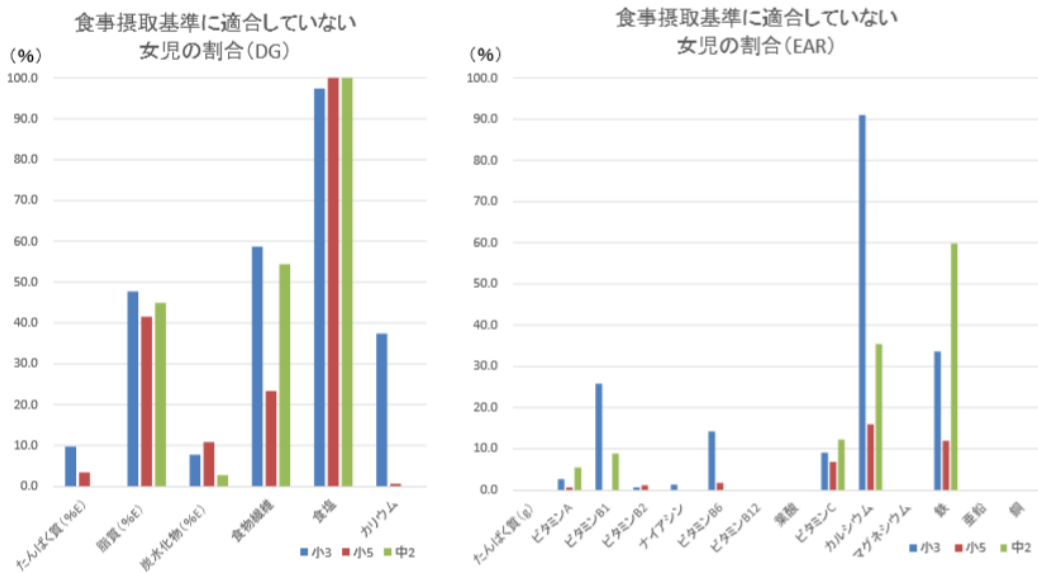


## 習慣的摂取量の問題点・男児



食塩、脂質、食物繊維摂取量の不適合率の高さが明らかである。  
 ビタミン・ミネラル類では、中学2年男子の不適合率が高い。カルシウム、鉄は他の学年でも不適合率高め。

## 習慣的摂取量の問題点・女児



男児と同じく、食塩、脂質、食物繊維摂取量の不適合率の高さが明らかである。  
 ビタミン・ミネラル類では、小学3年女子の不適合率が高い。(指標値の適切性の検討が必要か。Ex. カルシウム)

出典  
朝倉(2016)

## 夜の給食システムの導入を 自治体に提案・推奨する

- **対象**

孤食率・貧困率の高い自治体の小学生

頻度：週2～3回、夕方 場所：小学校の校舎を借用

- **健康問題**

こどもの貧困・孤食・生活習慣病リスク、食育の不浸透、地域コミュニティの欠如

# 政策：具体的プランモデルについて

## 給食センターと提携

- ・衛生面の安全を保証
- ・栄養バランスを保証

## 食育

- ・食育推進
- ・将来こどもが自立した健康管理をできるように

## 企業・農協・漁協と協力

- ・国が「ホワイト企業認定マーク」を付与
- ・レビューを執筆し、食品の売り上げに貢献
- ・地元の食材の消費促進のため、主に食材提供・財政面での支援

## 高齢者に協力を依頼

- ・現場スタッフ
- ・地域住民との交流で地域コミュニティ形成
- ・栄養ガイドライン作成

## 累進的給食費軽減

- ・貧困層への救済措置

## 休日に親子参加型イベント

- ・家族での食事機会の減少への対策
- ・フードバンクと協力

食育に関係する省庁が連携し、コストをスリム化  
現行の児童手当を一部夜の給食に充足

# 政策：自治体への提言（短期スパン）

5年後

10年後

貧困が深刻な自治体を指定し、  
試験導入（初期指定自治体）

- ・前例づくり
- ・補助金の不足を補填
- ・民間の人材との橋渡し
- ・国の人材（コンサルタント）の派遣

自治体に正のインセンティブ付与

- ・自治体の順位づけのための全国統一の栄養指標を制定
- ・補助金の供出

IT化

- ・食事の栄養素のわかりやすい表示
- ・保護者にこどもの様子を伝える
- ・夜の給食のない日の食事の診断
- ・協賛企業との連携の一助に

こどもの健康状態のデータ管理

- ・初期指定自治体におけるデータ管理



# 政策：自治体への提言（中期スパン）

15年後

20年後

## 初期指定自治体の評価・優良自治体の成果のPR （インターネット・SNSの利用）

- ・初期に約束することで初期指定自治体に正のインセンティブ付与
- ・こどもの健康状態を改善できた初期指定自治体を優遇し、後に続く自治体に正のインセンティブを付与

## 政策を次世代に継続

- ・現在のこどもが親世代に
- ・食育の世代間に渡る浸透

# 政策：自治体への提言（長期スパン）

25年後

30年後

## 最終達成目標

健康状態改善・生活習慣病リスク軽減

食育の浸透

こどもを取り巻く地域コミュニティの形成と維持